



「きゃぱすふれんず 2025」を発行しました！

市内で活動する市民活動団体を紹介する冊子「きゃぱすふれんず 2025」を発行いたしました。きゃぱすホームページ「市民活動紹介」掲載団体を対象に掲載いたしております。本冊子を通じて、多くの方に市民活動の魅力や多様性を知っていただき、「何かやってみよう」「誰かとつながりたい」と思ったときに、最初の一步を踏み出すきっかけとなれば幸いです。ご興味、関心のある方は、きゃぱす窓口までお越しください。

① INFORMATION (2～3月)

参加方法など詳細はきゃぱすホームページをご確認ください。

語り場

テーマで語り合える「しゃべり場」
夜カフェ

2/18 ㊤ 年賀状送った？

3/18 ㊤ 未定

19:00～20:30
おにクル7階 市民交流スペース

イベント

茨木キョウソウシウム
学生 Meet up! ～活動発表&交流会～

3/7 ㊤ 14:00～16:00

おにクル1階 きたしんホール

市内で活動する学生団体が約10団体集まり日頃の活動紹介やの活動成果を発表。

講座

講師チャレンジ企画/
色鉛筆でりんごを描こう！

3/21 ㊤ 10:00～12:00

おにクル7階 市民交流スペース

色鉛筆の基本的な塗り方を学び、りんごをポストカードに描こう！

講座

講師チャレンジ企画/
水彩画で楽しくかわいい動物を描いてみよう！

2/21 ㊤ 10:00～12:00

おにクル7階 市民交流スペース

ハガキサイズに描きたいペットや動物の写真をしながら下書きし、水彩画で色をのせるコツ。

イベント

きゃぱす day
「チャレンジ × 市民活動」

3/14 ㊤ 11:00～16:00

おにクル1階、7階 オープンスペース

「チャレンジ」を一テーマにワークショップや体験会を開催。

講座

講師チャレンジ企画/
にほんごをかこう！

3/21 ㊤ ①14:00～②15:00～

おにクル7階 市民交流スペース

外国人の方向けに日常でよく使う言葉や間違いやすい文字を正しく書くことを学ぼう！

講座

講師チャレンジ企画/
初心者麻雀教室

2/21 ㊤ 14:00～16:00

おにクル7階 市民交流スペース

初心者向けに麻雀のルールや上がり方を詳しく説明。

その他

きゃぱす de コラボ/
かえっこパズルくるくる&友遊ひろば

3/10 ㊤・3/24 ㊤ 10:00～16:00

おにクル7階 市民交流スペース

まだまだ着れる子ども服のお譲り会(有料)とおしゃべりサロン。

これまでのイベントや講座の様子は、きゃぱすホームページよりご覧いただけます。



きゃぱすホームページ「事業報告」

参加団体募集！

令和8年度団体交流会「オープンきゃぱす」



OPEN CAPAS 2026

4/17 ㊤・18 ㊤ 両日①10:00～13:00 ②14:00～17:00

おにクル7階 市民交流スペース

市内で活動する市民活動団体が集まり、団体紹介や日頃の取り組み、これからの目標を発表し合う交流会です。他団体との情報・意見交換の時間もあり、団体同士のつながりを深めるチャンスです。

ぜひ、ご参加ください！

[申込み締切：2/28 ㊤]

きゃぱすからのお知らせやイベント情報を配信中！

Instagram



@ibaraki_capas

公式 LINE



@229mfsqx



指定管理者：いばらき市民活動推進ネット

〒567-0888 大阪府茨木市駅前三丁目 9-45
茨木市文化・子育て複合施設 おにクル7階

電話：072-623-8820

E-mail：capas@ibaraki-npo.jp

開所時間：9:00～22:00(受付21:30まで)

休所日：第2・4月曜(祝日の場合は翌日)

年末年始(12/29～1/3)



ホームページ

https://ibaraki-npo.jp/



令和七年度市民活動応援フェスタ

みんなの活動

大展示会



このまちでつながろう！楽しもう！

2025.11.1

11/1
[sat]

令和七年度 市民活動応援フェスタ みんなの活動 大展示会

令和七年度市民活動応援フェスタ
みんなの活動

大展示会

市内で活動する市民活動団体が集まり、日頃の取り組みを紹介し、団体同士のつながりづくりを目的とした「市民活動応援フェスタ～みんなの活動大展示会～」を、おにクルで初めて開催しました。当日は63団体が参加し、来場者はのべ3,500人にのぼりました。参加団体による展示やワークショップ、きたしんホールでの講演会や活動発表などの多彩な企画を通して、多くの方に団体の活動や「きゃぱす」を知っていただく機会となりました。また、芝生広場から中央公園にかけては、福祉啓発ユニット LanT nk いばらきが主催する「おにも見にクル FUKUSHI マルシェ」も同日開催され、おにクル全体がとてもにぎやかな一日となりました。

大展示会の様子をお届けします！



講演会「おにもクルのようなまちが本当にいい理由」 ～場を持つ力を三股町の実践から考える～



宮崎県三股町にあるコミュニティデザインラボ 所長の松崎亮さんによる講演会。三股町で実践している場づくりについて、お話しいただきました。「全ての人に番を」というキーワードがとても印象に残りました。

トークセッション「こんな時どうしてる？」



市民活動に取り組まれている方々と松崎さん、センター長によるテーマに沿ったトークセッション。活動の工夫や思いなどの意見交換をステージ上で行いました。

エコ・クッキング Café「自家焙煎コーヒー」



クッキングラボことことでは、大阪ガスネットワークによる「エコ・クッキング」を開催。親子で環境について学びながら、料理を作りました。また、追手門学院大学公認サークル Flavor coffee roasters による淹れたての自家焙煎コーヒーの出店。コーヒーで交流が生まれていました。

はみがきうさぎのダンスショー



NPO 法人おくちのけんこうによる、活動紹介とはみがきうさぎのダンスショー。はみがきうさぎとロクローが登場し、子どもたちと一緒にダンスを楽しみました。

高校生によるボランティア活動発表 ～高校生が取り組む！被災地復興ボランティア～



NPO 法人つばさネットワークによる気仙沼や能登半島での復興支援活動についての発表。高校生が現地体験したことを、写真や映像を交えながら報告しました。

スタンプラリー



会場を巡ってスタンプを集めて、景品と交換。スタンプラリーを楽しみながら、各回の展示や催しに足を運んでいただけました。

団体の活動紹介に加え、学びの企画やお子さま向けの企画、高校生・大学生の参加もあり、子どもから大人まで世代を問わず楽しめることが、「市民活動応援フェスタ」そして市民活動そのものの大きな魅力です。



ワークショップ・販売



ワークショップや販売の各ブースでは、来場者との会話や体験を通じて、交流が次々と生まれていました。市民活動を身近に感じていただける機会となりました。

ステージ発表



体操、朗読、楽器演奏、フラダンスなど、日ごろの練習や活動の成果をステージで発表。各団体、短い時間での発表となりましたが、団体の特色が良く伝わる発表でした。

エシカリズムプレゼンツ『share』



会議室では、エシカリズムによる企画『share』を開催。ぐるりお譲り交換会はじめ、モノ・スキル・デキル・トクイをみんなでシェアして楽しむブースやプログラムが多数あり、終日大盛況でした。

パネル展示



団体の活動内容やこれまでの取り組みをポスターや写真などを使い紹介。多くの方が足を止め、興味深く読み込んでいました。展示から活動の思いが伝わるものとなりました。

Koyodai Stage 2025



向陽台高等学校軽音楽部によるバンド演奏。緊張した表情も演奏が始まると、楽しさが溢れていました。若い世代のエネルギーは、地域に元気を届けることができると改めて感じさせてもらえるステージでした。

リトミックコンサート



いばらきリトミックくらぶによるリトミックコンサート。音を感じて楽しむプログラムとなっており、集った子どもたちは、音に合わせて体いっぱい表現していました。音楽で会場がひとつになっていました。

おにクルーズ学園「オープンスクール」



イベントクリエイター集団おにクルーズによる企画「おにクルーズ学園」。時間ごとに、メンバーの得意を活かしたプログラムを開催。屋上広場では、「ちいさなうんどうかい」が実施されるなど、賑やかな声が響いていました。



ご来場いただいたみなさま、ご参加いただいた市民活動団体のみならず、プログラム企画、運営に携わっていただいた市民活動団体のみならず、そして、会場設営から運営、撤収のお手伝い、イベントの盛り上げにご協力いただいた向陽台高等学校ボランティア部はじめ学生ボランティアのみならず、ご協力ありがとうございました。市内の市民活動を多くの方にお届けできた、実りある一日となりました。今回のつながりが次の活動へと広がっていくよう、今後も事業を展開していきます！

12/13
[sat]

情報交換会「教育のチカラでつながる広がり」

「教育」をテーマとした分野別交流会として、情報交換会「教育のチカラでつながる広がり」を開催しました。午前の部（基調講演）、ランチ交流会、午後の部（情報交換会）という長時間のプログラムにもかかわらず、居場所づくりに取り組む市民活動団体、教育関係者、関心を持つ市民など、幅広い方々に参加いただきました。



午前の部 基調講演「フリースクールのチャレンジとこれから」



講師：三科元明さん
(NPO 法人ここ 理事長)

吹田市、大阪市で「フリースクールここ」を運営する NPO 法人ここ理事長の三科元明さんを講師にお招きし、「フリースクールのチャレンジとこれから」をご講演いただきました。フリースクール設立の経緯や日々の取り組み、学校・行政との関わり方、そして今後学校や行政に求めることなどを、時折ユーモアを交えながら丁寧にお話しいただきました。参加者の皆さんは熱心に耳を傾け、会場には真剣な空気が漂っていました。質疑応答の時間を長めに設けたことで、参加者からは職員の採用に関することや地域との関わり方など、実践的な質問があり、三科さんは一つ一つに真摯にご回答くださいました。スライドに映し出された子どもたちの生き生きとした姿の背景にあるもの、そのご家族の思いなど、フリースクール運営を通して見えてきたものを包み隠さず語っていただきました。講演の中で「生徒と向き合う時は『覚悟』を持ってひとりひとりと接している」という言葉は、多くの参加者の心に深く残った様子でした。多くの気づきと学びを得る時間となりました。

午後の部 情報交換会「見守る、寄り添うだけでいいの？」



午後からは、「見守る、寄り添うだけでいいの？」をテーマに情報交換会を行いました。4～5人のグループに分かれ、付箋に意見を書き出しながら話し合うワークショップ形式で進めました。「見守る」「寄り添う」という言葉は、日常的によく使われますが、使う場面やタイミングによって意味や込められた思いが異なります。そのため、受け取る側の状況によっても感じ方が変わることがあるという意見が出されました。また、次のステージへ進むタイミングにおいて、背中を押す「見守る」「寄り添う」がとても重要であるという気づきも共有されました。今回のテーマでは子どもに関する意見が多く出ましたが、大人が多くの情報を持ち、人や場所とつながることの大切さや、「見守る」「寄り添う」側が自分らしくいることの大切さにも気づかされる時間となりました。

参加者からの感想と気づき

- 大人である自分に何ができるのかを考える、よい機会となりました。
- ここは「大人のまなび場」だと感じました。
- 同じ思いをもった大人が多くいることを知り、心強く思いました。
- それぞれ異なる立場の人同士が、率直に話し合える場であったことがとても良かったです。
- 多くの方から「大人の本気」を聞くことができ、印象に残りました。
- 自分の考えを安心して話せる場の大切さを、改めて感じました。
- 「長い目で見ること」の重要性を再認識しました。
- 人とつながることの必要性・重要性を強く感じました。
- 「覚悟」という言葉が、強く心に残りました。

講師からの感想



「熱がすごい！」
という言葉に
尽きます！

講演時の参加者の皆さんの姿勢や質問の内容、さらにランチタイムや情報交換会に至るまで、お一人おひとりの「なんとかしたい!」という熱意を最後まで感じた一日でした。日々子どもたちと関わる中で、社会の現状を変えなければという思いから、つい独りよがりになってしまうこともあります。今回、「茨木市を次のステージへ」という思いを持ち、市民活動の渦をしかりとつくっていく仲間の一人になれたという実感を、あらためて持ち帰ることができました。

公共施設を活用した居場所づくりをご紹介します！

むすびや寺こや



Q. どんな活動をしていますか？

三島コミセン、西光寺、近くの畑を使い、畑仕事やものづくり、食を囲む体験を通して、子どもも大人も心と体で感じ、学び合える地域活動を行っています。

むすびや寺こやが考える

Q. 「見守る、寄り添う」とは？

こどももおとなも、ひとりの人間同士として同じ立場で向き合い、あるがままでいられること。答えを与えるのではなく、話を聴き、傍らにいて共に過ごす中で、安心できる関係を育てていくこと。そして、常に相手を信じることだと考えています。

トーキョーコーヒー大阪茨木



Q. どんな活動をしていますか？

真砂東集会所で毎週火曜日、ものづくりをしたり、一緒にご飯を食べたり、ただ過ごしたり。大人も子どもも、自分のペースで過ごせる場をえています。

トーキョーコーヒーが考える

Q. 「見守る、寄り添う」とは？

相手が動き出すまで急かさずそっと待つこと。やりたいうことが出てきたときに手を貸せるよう準備しておくこと。誰もが自分のペースで過ごせる時間と空気を大切にすること。(今はこう思っているけど、日々、考えはアップデートされます。)

本事業での「教育」は、学校教育に限るものではありません。子どもに関わるすべての人の関わりを「教育」として捉え、同じ思いを持つ人同士がつながることによって広がりや学びが生まれることを目的に、引き続き取り組んでまいります。



おにクルでつくるう はじめてのマルシェ 連続講座

公共施設「おにクル」のオープンスペースでは、どんなことができるでしょうか。オープン以降、多く開催されているのが「マルシェ」です。では、出会いや活動がさらに広がるマルシェにするためには、どうしたらいいのでしょうか。経験者や専門家の話から、学び、考えて実践する連続講座「おにクルでつくるう はじめてのマルシェ」を企画しました。

企画時の思い・背景



おにクルでは、オープンスペースでのイベント利用時は事前に打ち合わせをしています。担当しているのが、茨木市共創推進課・おにクルみらい（おにクル指定管理者）・いばらき市民活動推進ネット（きゃぱす指定管理者）の3者。多くのマルシェイベントの事前打ち合わせを通して、みんなが「心地いい」と感じられるマルシェについて学ぶ機会を設けたいと考えました。

- ・「はじめて」を楽しむ
- ・ストーリー（思い）を伝える
- ・つながりを意識する

この3つを大切にしながら連続講座を考えていきました。

全4回講座の様子

第1回 7/19[sat] ちょっと先歩く先輩に学ぼう



本講座が生まれた背景、大切に考えていること、全体の流れを紹介。茨木市内やおにクルで活動をしている「ちょっと先歩く先輩」からは、活動のきっかけや工夫していることなど「マルシェ」出店へ向けての具体的な話を聞きました。

第2回 8/2[sat] 発信するコトを考えよう



株式会社 PR リンク代表・神崎英徳さんが、伝えるべき情報について解説。「応援してくれる人」を増やすことが重要で、そのために発信すべきことがある、という話でした。

第3回 9/6[sat] ブース作りを考えてみよう



中小企業診断士・増田たくみさん（トゥーキャンコンサルティング）が、展示会や店舗ディスプレイの経験から、出店者が考えるべきことを伝えてくれました。

第4回 10/4[sat] 活動を続けるために知っておきたいこと



イベント当日に予定しているブースを発表しあいました。後半は、NPO 法人市民ネットすいた理事・入江陽子さんが活動を続けるときに考えたいことを解説。「皆さんの挑戦する姿が、まちの文化になる」とエールを送ってくれました。

参加者のお困りごとや迷いもフォロー

受講生が気軽に集う「サロン」を開催



気軽に相談できる「サロン」を2回実施。ブース作りの考え方から、商品の選び方や展示方法など、講座の時間内ではできなかった個別の相談の場を作りました。参加者同士で、ブースでの支払い方法や什器の工夫などを話し合う時間にもなったようです。

「茨木蚤の市」見学ツアー



第4回講座からマルシェまで約1ヶ月。出店のヒントになれば、と11月3日（月・祝）に開催されていた「茨木蚤の市」を希望者とツアーでまわりました。実際の準備の工夫など、本講座の講師や参加者の出店ブースで情報交換もできました。

おにクルマルシェ開催！



「おにクルでつくるう はじめてのマルシェ」では、全4回の学びの実践の場として「おにクルマルシェ」を11月24日（月・祝）に実施しました。机やイス、背面ボード、POP 台の移動など会場設営から全員で行い、実際の「イベント空間をつくる」ところから体験。声を掛け合いながら、準備を進めていきました。自分がなぜこの商品・サービスを扱うのか、それをどう発信しブースで表現するのか、それぞれが真剣に取り組んできたことの発表の場です。考えてきたとおりに進まなくても「やりながら考え、変えてみる」など、この機会を存分に使って力試しをしていきました。

出店をしての感想

- 家で飾りつけの練習をした。それ以上にうまくできた！
- 「先を歩く先輩」のアドバイスがありがたかった。
- お客様に声をかけるタイミングの難しさを感じた。このメンバーでまた実施したい。
- すべては実践できなくて課題も残ったので、また同じ講座があったら参加して理解を深めたい。

講師より

一緒に学んできた仲間が集まっているという「温かみ」のようなものが、皆さんの姿から伝わってきました。皆さんの真剣な取り組みがそれぞれ形になっていることが印象に残りました。

振り返り会



「お客さんが来るか不安だった」という声もちらほら。だからこそ「一緒に学んだ人たちと出店することは心強かった」との声が多く聞かれました。「コンセプトを意識してマルシェ作りをすることの大切さを教えてもらった」「一緒に学んだ皆さんに囲まれて、私も変わっていくことができた」など、初めの一步を踏み出した皆さんは、次へ向けてどう活動していくのかも考えているようでした。